

2023年8月6日(日)第一主日礼拝
マルコの福音書10章13～16節
『子どものような信仰で』

序論:

- ①「憤って」という言葉は、福音書の中でここだけにある。
- ②当時、ユダヤの社会では、有名な先生に祈ってもらうと祝福されるという言い伝えがあった。

本論:

1. イエスさまは招いておられる

- ①「子ども」とは、0歳から12歳までの年齢で用いられる。
- ②弟子たちはイエスさまの霊肉の疲れを気遣って、子どもたちを帰らせた(人間の思い)。
- ③イエスさまは「子どもたちを、わたしのところに来させなさい」と積極的に招かれた(主の思い)。

2. イエスさまは受け入れてくださる

- ①子どもたちは怒られている弟子たちを横目で見ながら、イエスさまに近づいていった。
- ②子どもたちはイエスさまの懐で、子どもらしく振舞ったに違いない。大人はハラハラしていただろう。
- ③イエスさまは、そういう子どもたちのようにならなければ、決して神の国に入れないと教えられた。

3. イエスさまは祝福してくださる

- ①イエスさまは、子どもたちのために時間を費やし、心から愛された。
- ②イエスさまは、祝福を携えて来られた方、まさに祝福そのものである。
- ③「神の国」とは、イエスさまの御腕に抱かれ、祝福を受けることだと体現された。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。